



2021年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年11月8日

東

上場会社名 GMOリサーチ株式会社 上場取引所
 コード番号 3695 URL https://gmo-research.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)細川 慎一
 問合せ先責任者 (役職名)取締役 グローバル経営管理本部長 (氏名)森 勇憲 (TEL) 03(5962)0037
 四半期報告書提出予定日 2021年11月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第3四半期の連結業績(2021年1月1日～2021年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第3四半期	2,864	19.3	225	116.4	253	248.6	175	218.7
2020年12月期第3四半期	2,401	0.7	104	9.4	72	0.0	55	5.5

(注) 包括利益 2021年12月期第3四半期 180百万円 (220.0%) 2020年12月期第3四半期 56百万円 (15.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第3四半期	107.51	107.42
2020年12月期第3四半期	33.74	33.70

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第3四半期	2,439	1,571	64.4
2020年12月期	2,231	1,483	66.5

(参考) 自己資本 2021年12月期第3四半期 1,571百万円 2020年12月期 1,483百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	0.00	0.00	0.00	53.86	53.86
2021年12月期	0.00	0.00	0.00		
2021年12月期(予想)				73.53	73.53

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日～2021年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,980	17.2	320	21.3	350	45.2	240	36.6	147.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年12月期3Q	1,677,000株	2020年12月期	1,677,000株
2021年12月期3Q	45,144株	2020年12月期	46,326株
2021年12月期3Q	1,630,795株	2020年12月期3Q	1,630,674株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その妥当性を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、さまざまな要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

第3四半期連結累計期間(2021年1月1日～2021年9月30日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が継続し、一定の経済活動の抑制が継続しました。ワクチン接種が開始されましたが、感染者数の再拡大がみられる地域などで緊急事態宣言等の再発令がされるなど、新型コロナウイルス感染症が社会および経済活動に及ぼす影響が不確かかつ不透明な状況が続いております。世界経済においても、国・地域ごとの感染状況やワクチン接種の進捗、経済対策の違いなどにより、国・地域ごとの経済の状況には差異が生じておりますが、新型コロナウイルス感染症の及ぼす影響が不確かかつ不透明な状況は継続しております。

マーケティング・リサーチ業界の世界全体の市場規模については、「ESOMAR INDUSTRY REPORT 2020」によると、2019年は\$ 89,903 million(前年比5.9%増)となり、また、2017年から2018年の成長率が3.3%だったことから、拡大傾向にあります。また、国内市場については、一般社団法人日本マーケティング・リサーチ協会の「第45回経営業務実態調査」によると、2019年度の市場規模は2,291億円(前年比4.6%増)となり、そのうちの当社グループの主力事業であるインターネットリサーチの市場規模については、前年比8.0%増と上向きの結果となっております。

このような経済・市場環境のもと、新型コロナウイルス感染症の当社グループの業績に与える影響として、国内における緊急事態宣言等の発令、海外諸国における都市封鎖や移動制限などの状況下において、一部に調査案件の延期や凍結などの影響は残るものの、全体的にはコロナ禍という新常态の下での安定や成長の回復が見られました。また、新型コロナウイルス感染症による環境変化は、定量・定性リサーチのオンライン化の加速やDIY型のリサーチへのニーズの高まりなど、中長期的には当社グループが強みを発揮できる事業環境の変化をもたらしております。

このような状況の中、当社グループは、「想いを、世界に」の経営理念のもと、インターネットリサーチ事業におけるナンバーワンを目指し、事業にまい進してまいりました。

国内市場に関しては、DIY型リサーチシステムである当社プラットフォーム(GMO Market Observer)の機能およびサービス体制の強化を進めシェア拡大に努めるほか、オペレーション業務の標準化と顧客対応力の強化による生産性の向上に取り組むとともに、新規顧客の開拓を積極的に行ったこと等により、堅調に成果を上げることが出来ました。また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のための行動様式として、対面式オフライン調査からオンライン調査への移行のニーズに応えるため、消費者へのインタビューによる定性調査を対面することなくオンライン上で完結できるサービスである「MO Insights」を提供しています。また、一般事業会社における手軽で簡素なりサーチニーズに対して、顧客が利用するDIY型(セルフ型)アンケートツールから、国内・アジア最大級の調査用パネルへのアンケート調査ができるサービスである「MO Lite アンケート byGMO」、国内・アジア最大級の調査用パネルへのインタビューができるパッケージ型のオンラインインタビューサービスである「MO Lite インタビュー byGMO」を提供しております。また、「MO Lite アンケート byGMO」においてパウチャープランを開始し、新たな料金体系を導入するなど、市場のニーズに応えるサービスを提供しております。

海外市場に関しては、顧客や競合他社によるアジア拠点の強化といった動きにより競争が激しくなる中、顧客とのシステム連携の推進や品質の向上といった施策を講じ、アジアでの強みを発揮するとともに、国内市場と同様に、「MO Insights」や「MO Lite アンケート byGMO」、「MO Lite インタビュー byGMO」を提供しております。また、調査用パネルのさらなる充実のため、インドにおいて自社運営の調査用パネルをオープンいたしました。

また、当社グループでは、コロナ禍という新常态に適した経費支出の見直し、働き方改革の推進やシステム機能開発などによる費用削減・生産性向上への取り組みによる収益力の改善、新型コロナウイルス感染症による顧客ニーズの変化に応えるための新商品・新サービスの開発とリリースへの継続的な取り組み等を行い、コロナ禍という新常态に適した事業運営を行うことで、新型コロナウイルス感染症による影響への対応を進めました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は2,864,151千円(前年同期比19.3%増)、営業利益は225,795千円(前年同期比116.4%増)、経常利益は253,791千円(前年同期比248.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は175,330千円(前年同期比218.7%増)となりました。

事業のサービス別の売上高については、以下の通りです。

①アウトソーシングサービス

アウトソーシングサービスは、近年調査会社業界からの需要が拡大傾向にあるアンケート作成からローデータ・集計

までのサービスを一括で受託するサービスです。当第3四半期連結累計期間においては、調査会社からの案件の受託本数が堅調に推移し、当サービスの売上高は、1,956,161千円（前年同期比16.7%増）となりました。

②D. I. Yサービス

D. I. Yサービスは、当社が独自に開発したリサーチ・ソリューション・プラットフォーム（GMOMarket Observer）を利用して、顧客自身がアンケート作成から集計までを行うサービスです。当第3四半期連結累計期間においては、当サービスの浸透により利用頻度が増加し、当サービスの売上高は、850,443千円（前年同期比24.8%増）となりました。

③その他サービス

その他サービスは、アウトソーシングサービスとD. I. Yサービス以外のオフラインリサーチサービス等となっております。当第3四半期連結累計期間においては、その他サービスの売上高は、57,548千円（前年同期比32.2%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産につきましては、2,439,499千円となり、前連結会計年度末に比べて207,852千円増加（9.3%増）いたしました。主たる変動要因は、関係会社預け金の増加250,000千円、前払費用の減少52,358千円等であります。

負債につきましては、867,511千円となり、前連結会計年度末に比べて119,009千円増加（15.9%増）いたしました。主たる変動要因は、買掛金の増加29,076千円、ポイント引当金の増加28,481千円、その他の増加40,214千円等であります。純資産につきましては、1,571,987千円となり、前連結会計年度末に比べて88,842千円増（6.0%増）いたしました。主たる変動要因は、当第3四半期連結累計期間における親会社株主に帰属する四半期純利益175,330千円による利益剰余金の増加及び配当金の支払による利益剰余金の減少87,828千円等であります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年12月期通期の業績予想に関しては、2021年11月8日に公表いたしました「通期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

新型コロナウイルス感染症の影響について、第3四半期連結累計期間における状況、および現在の新型コロナウイルス感染症の状況とそれを踏まえた当社グループの対応を総合的に勘案して、2021年12月期の連結業績予想をしております。

新型コロナウイルス感染症の当社グループの連結業績に与える影響について、当第3四半期連結会計期間においては、国内における緊急事態宣言等の発令、海外諸国における都市封鎖や移動制限などの状況下において、一部に調査案件の延期や凍結などの影響は残るものの、全体的にはコロナ禍という新常态の下での安定や成長の回復が見られました。また、当社グループでは、コロナ禍という新常态に適した経費支出の見直し、働き方改革の推進やシステム機能開発などによる費用削減・生産性向上への取り組みによる収益力の改善、新型コロナウイルス感染症による顧客ニーズの変化に応えるための新商品・新サービスの開発とリリースへの継続的な取り組み等を行い、コロナ禍という新常态に適した事業運営を行うことで、新型コロナウイルス感染症による影響への対応を進めております。

その結果、当期の期首から第3四半期まで調査案件の好調な受注や原価率の改善傾向が継続していること、また、為替相場の動向を含め営業外損益の発生状況が順調であることから、当期の連結業績は当初の業績予想に対して順調に進捗いたしました。

このような状況を総合的に勘案して、新型コロナウイルス感染症に伴う不確実性は残るものの、足元の受注状況や第4四半期の予想を考慮し、2021年2月9日に発表した連結業績予想を修正いたしました。

なお、連結業績予想は、当社グループが現時点において入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、今後の新型コロナウイルス感染症の経過やその他さまざまな要因により、実際の業績は予想数値と異なる結果となる可能性があります。連結業績予想について、今後、公表すべき事実が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	663,182	745,305
関係会社預け金	250,000	500,000
売掛金	731,804	681,907
仕掛品	34,067	37,548
前払費用	129,969	77,611
その他	18,293	10,148
貸倒引当金	△3,870	△17,857
流動資産合計	1,823,447	2,034,663
固定資産		
有形固定資産	19,360	27,417
無形固定資産		
ソフトウェア	167,230	172,091
ソフトウェア仮勘定	7,733	8,072
無形固定資産合計	174,964	180,163
投資その他の資産		
その他	213,874	200,926
貸倒引当金	-	△3,671
投資その他の資産合計	213,874	197,254
固定資産合計	408,199	404,835
資産合計	2,231,647	2,439,499
負債の部		
流動負債		
買掛金	146,036	175,112
リース債務	7,087	7,804
未払金	151,143	125,480
未払費用	87,894	89,049
未払法人税等	47,290	70,951
賞与引当金	15,181	28,089
ポイント引当金	194,845	223,326
その他	90,031	130,245
流動負債合計	739,510	850,060
固定負債		
資産除去債務	3,748	3,803
その他	5,243	13,647
固定負債合計	8,991	17,450
負債合計	748,502	867,511
純資産の部		
株主資本		
資本金	299,034	299,034
資本剰余金	393,703	393,236
利益剰余金	850,086	933,114
自己株式	△48,737	△47,578
株主資本合計	1,494,087	1,577,807
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,944	△1,439
為替換算調整勘定	△8,997	△4,380
その他の包括利益累計額合計	△10,942	△5,820
純資産合計	1,483,144	1,571,987
負債純資産合計	2,231,647	2,439,499

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年9月30日)
売上高	2,401,320	2,864,151
売上原価	1,326,346	1,483,925
売上総利益	1,074,974	1,380,226
販売費及び一般管理費	970,616	1,154,430
営業利益	104,357	225,795
営業外収益		
受取利息及び配当金	243	9,146
補助金収入	1,289	4,924
為替差益	-	14,545
その他	1,916	1,792
営業外収益合計	3,449	30,407
営業外費用		
支払利息	720	308
為替差損	28,685	-
投資事業組合運用損	5,589	2,103
その他	0	-
営業外費用合計	34,996	2,411
経常利益	72,811	253,791
特別損失		
固定資産除却損	203	-
投資有価証券評価損	787	-
特別損失合計	991	-
税金等調整前四半期純利益	71,820	253,791
法人税、住民税及び事業税	20,660	98,000
法人税等調整額	△3,339	△19,539
法人税等合計	17,321	78,461
四半期純利益	54,498	175,330
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△522	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	55,021	175,330

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
四半期純利益	54,498	175,330
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,828	505
為替換算調整勘定	△932	4,617
その他の包括利益合計	1,896	5,122
四半期包括利益	56,395	180,453
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	56,395	180,453
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(四半期連結損益計算書)

前第3四半期連結累計期間において、「営業外費用」の「その他」に含めて表示しておりました「投資事業組合運用損」及び「支払利息」は、金額的重要性が増したため、当第1四半期連結会計期間より独立掲記することといたしました。この表示方法の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間の四半期財務諸表の組み替えを行っております。

この結果、前第3四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書において、「営業外費用」の「その他」に表示しておりました6,310千円は、「投資事業組合運用損」5,589千円、「支払利息」720千円及び「その他」0千円として組み替えております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)

配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年3月19日 定時株主総会	普通株式	68,667	42.11	2019年12月31日	2020年3月23日	利益剰余金

当第3四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)

配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2021年3月19日 定時株主総会	普通株式	87,828	53.86	2020年12月31日	2021年3月22日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)

当社グループの報告セグメントは、「インターネットリサーチ事業」のみであり、その他の事業セグメントの重要性が乏しいため、記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)

当社グループの報告セグメントは、「インターネットリサーチ事業」のみであり、その他の事業セグメントの重要性が乏しいため、記載を省略しております。